

ひろば大代

NO. 252

大代公民館

第十五回「都市とふるさとを

結ぶ交流会」開催のご案内

大代高山会

暑中お見舞申し上げます。

大代高山会では記念すべき十五回目の都市とふるさとを結ぶ交流会を開催いたします。

今年も出来るだけ多くの皆さんが参加し、交流の輪が広がるように懐かしい田植囃子、神楽、盆踊り、郷土芸能発表などイベントを企画致しました。

期日 八月十五日(火)
場所 大代小学校駐車場

(雨天の場合体育館)

日程

- 一、田植囃子 午後三時～同二十分
- 一、開会行事 同二十分～同四十分

一、懇親会

午後三時四十分～午後六時

一、神楽

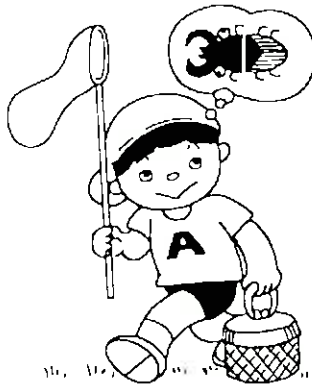
午後六時～午後七時三十分

一、盆踊り大会

午後八時～午後十一時

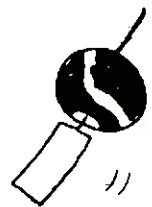
尚今年も当日小学校プールを午前十一時から午後三時まで一般開放致します。監視員はおりませんのでそれぞれ保護者の方が責任を持っていただきませうようお願い致します。

お盆に帰省されます方や町民の皆様が多数ご参加されます様ご案内してお待ちしております。



拜啓二十一世紀様

東京石見高山会 松野 広



「空襲警報解除じゃーあるが、警戒警報じゃあるけーなー」六秒十回のけたたましいサイレンがたつた今三十分前に鳴ったばかり。植松の落間の山根惣太さんが鎌の柄で破れたバケツをたたきながら植松から上市、下市をどび回っておられた。昭和十九年夏休み前の光景である。皇太后さまが去る六月十七日逝去され昭和は遠くなりになり、の感が致します。

戦後の物不足は今思い出してもぞつとします。シャツがない。ズボンがない、国家統制令で造り酒屋の廃業を余儀なくされた出店(上市原)には、不要となった酒粕しぼりのゴツイ袋があった。母はそれを分けてもらい、黒や茶色に染めて手縫いの半ズボンを作ってくれた。ズボンには学校にも、畑の手

伝いにも丈夫で万能であった。しかし布目はヤスリのようにいつでも両股は赤くはれ上がっていた。あれからもう五十六年か……。

昭和二十二年大家と八代は合併して大代村となった。小学校五・六年生は大家から八代の小学校に通った。新学期も始まった六月のある日、エンドウ豆や夏豆がごはんより多い弁当を持って、飯谷側から高山の大砲岩まで遠足に行つた。弁当を食べた帰り道、ちょっとわき道へ入つたところに清水が流れ、それは見事なわさび田があつた。誰かが一本、そして次々に二本、三本と失敬して弁当箱に詰め込んだ。引率の先生は先頭だから分らない。そのうち後続の女子は葉っぱごと取って風呂敷包み一杯にした。この異様な行列が飯谷のひとに見つかった。翌日は朝から原田殿校長（湯里出身）に烈火の如く大目玉。

「女子が欲しつただけだ、葉っぱですぐ見つかつたが、ようにしようたことをしたのー」男子生徒のボヤキで

ある。後日校長先生と園山教頭先生は祖式の方の持ち主へ謝りに行かれた。昔も今も先生は楽じゃあないですね。そして高山のイノシシがつぶやいた。「わし等でもあがいな大集団で悪さはしたことがない」と。

明治維新、終戦、そして今やIT革命（インホメーション・テクノロジ、情報技術）。大代公民館主催、都市とふる里を結ぶ交流会も早や十五回、時は流れても都会に住む私たちには、IT即ち会いテイ、逢いたいなのです、ふる里があればこそ励まされて今日まで生きて来たような気がします。

さもサケが生まれた川に帰るようにつばめが来年も来るように、古巣大代が二十一世紀に向けて、いつまでも健在でありますように……。大代の皆様に感謝しつつペンをおきます。



所感 テノール高音の魅力

田中公道氏のリサイタルを聞いて

関西高山会事務局長 中本 弘

私はわがふる里が産んだ宝、田中公道氏のリサイタルを聞くのは今回で三回目である。今回はデビュー四十周年感謝をこめてということで、二千八百人収容の大阪国際会議場グランキューブ大阪メインホール一杯にお客さんを集めてテノール高音の魅力を聞く者一人一人に堪能させられた。本当にいつもながら高音の魅力をいかななく発揮され、二千円の入場券では安すぎると感じるプロのエンターティナーであることを見せつけられた。



私自身同郷であることに誇りを感じ
る。彼の魅力について述べたい。

彼は命がけで舞台に立っていること。
「もうこれで終わりかもしれない。明
日はないのだ」という気持ちで全身全
霊であたつておられること。

次に彼の人柄である。苦勞している
者しか分からない人情の機微情け、そ
して常に多くの人に支えられていると
いう感謝の心、これが今回多くの人達
を会場に足を運ばせた人気の原因であ
る。

最後にあくなき挑戦である。彼も既
に還暦を過ぎて、目と体が少しずつ衰
えてゆくと言っておられた。それを心
で体をひっぱっているとのこと。また
美しいものは美しいと素直に感動され
る。これと合いまって「生涯現役」と
力強く宣言されている。

私は彼のリサイクルを聞く度に感激
と感動を新たにす。有名な青春の一
節、「青春とは年齢ではない、心の様
相をいう。」常に感激、感動の積み重
ねであると強く感じた。

彼がより多くの方々につつまでも感
動を与えていかれることを心から祈念
したい。

尚東京公演は九月二日東京文化会館
とのこと。東京でもきつと成功すると
確信を持ちながら、大阪公演が四月に
オープンしたばかりの会場にふさわし
かったことを紹介して終わりにします。

大代公安協よりお知らせ

大代公安協会長 田辺利正

去る六月二十九日市民会館に於て平
成十二年度大田市公安協の総会が開催
され、席上事故防止に貢献したという
ことで優良支部として表彰していただ
きました。そして左記の方々が優良運
転者十年表彰を受けられました。

佐藤京子(下市) 竹島 修(四日市)
森田小雪(四日市) 和田智恵(下飯谷)
渡利浩紀(山田) (敬称略)
引き続き安全運転をお願い致します。



* 八月行事予定 *

◆1日(火) 子宮・乳がん検診

◆1日(火) さくらんぼ教室打合せ

◆3日(木) スポーツ教室

◆3日(木) 心の相談室

◆15日(火) 第十五回「都市とふるさ
とを結ぶ交流会」

◆18日(金) 編集委員会

◆21日(月) 胃がん検診

◆23日(水) 連合自治会

◆24日(木) スポーツ教室

★——★お 知 ら せ★——★

◎大代地区社協より

平 武田 章様から

香典返しにかえ金一封のご厚志を頂

き厚くお礼申し上げます。

場所 小学校駐車場 午後3時?

皆さんの参加をお待ちしています。